

テレビドアホン

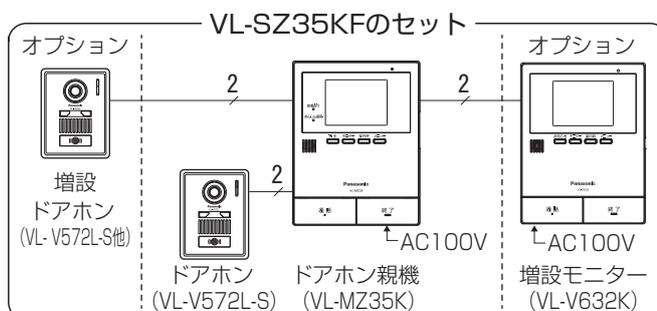
品名 テレビドアホン 2-2 タイプ (電源コード式) 品番 VL-SZ35KF

概要

本機は、モニター親機（ドアホン親機）とカメラ玄関子機（ドアホン）からなるテレビドアホン（2-2 タイプ）です。来客からの呼び出し（ドアホン着信）があると、ドアホン親機に來客の映像が映り、通話ボタンを押すと、約 2 分間來客の映像をみながら通話ができます。

- あんしん応答機能を搭載し、知らない人などからの呼び出しがあった場合、相手に名前や用件を尋ねるメッセージを流して相手を確認したあと、呼び出しに応答することも、応答しないこともできます。また相手の映像と音声を記録できます。
- SD カードスロットを搭載し、ドアホン着信時やあんしん応答機能動作時に來客映像を動画で SD カードに録画します（※）。
- 住宅用火災警報器を接続できます。火災発生時に警報器が反応すると、本機に警報通知します。ドアホン親機は警報音と音声、画面表示で宅内に知らせ、ドアホンは設定により、警報音と音声、LED ライト点滅で宅外に知らせます。

※あんしん応答時は音声の録音ができます。



特長・機能

(1) ドアホン

- 外観はメタリック塗装のシルバー色です。広角レンズ（左右約 170°、上下約 130°）を採用し、玄関先を広く確認できます。
- 來客時、夜間などで周囲が暗い条件下では、ドアホンの LED ライトが自動点灯し、來訪者をカラーで映します。
- 位置表示ランプ（LED）で、夜間でも呼出ボタンの位置がわかります。

(2) ドアホン親機

- 約 3.5 型のカラー液晶ディスプレイを採用しています。
- SD カードスロットを搭載し、SD カードを準備いただくと、ドアホンの映像と音声を動画で記録できます。（本書 11 ページへ）

- 概要、特長・機能に記載されている接続機器（別売品・連携できる機器一覧）は本書 7 ページへ。
- 機能・特長に記載の詳細動作については、取扱説明書をご確認ください。

構成品／概要／特長・機能

セット品番	VL-SZ35KF	品番	—
品名	テレビドアホン 2-2 タイプ		

パナソニック株式会社

作成年月	2019.6	変更年月	—	第 1 版
------	--------	------	---	-------

(3) あんしん応答機能

知らない人などからの呼び出しがあった場合、相手に名前や用件を尋ねるメッセージを流して相手を確認したあと、呼び出しに応答することも、応答しないこともできます。

＜手動であんしん応答機能を使う場合＞

呼出音が鳴って来客が知らない人だったら、モニターボタン（あんしん応答）を押すことで、来客側にあんしん応答のメッセージ（※）が流れ、相手の映像と音声自動的に記録されます。

＜自動あんしん応答機能を使う場合＞

設定により、自動的に来客側にあんしん応答メッセージ（※）が流れ、相手の映像と音声を記録します。用件の録音中に応答することもできます。

※下記メッセージが流れます。

『あんしん応答モードです。「ピーッ」という音のあと 20 秒以内でお名前とご用件をお話してください。「ピーッ』』

●録画時間と件数、対応の SD カードの詳細は本書 11 ページへ。

(4) 録画・録音機能

ドアホンの映像と音声を、SD カードもしくは親機の本体メモリーに記録することができます。

SD カード挿入の場合、ドアホンの映像を動画で録画し、本体メモリーの場合、約 1 秒おきの連続静止画で録画します。

記録先はドアホン親機に SD カードが入っていると SD カード、SD カードがないと、親機の本体メモリーになります。

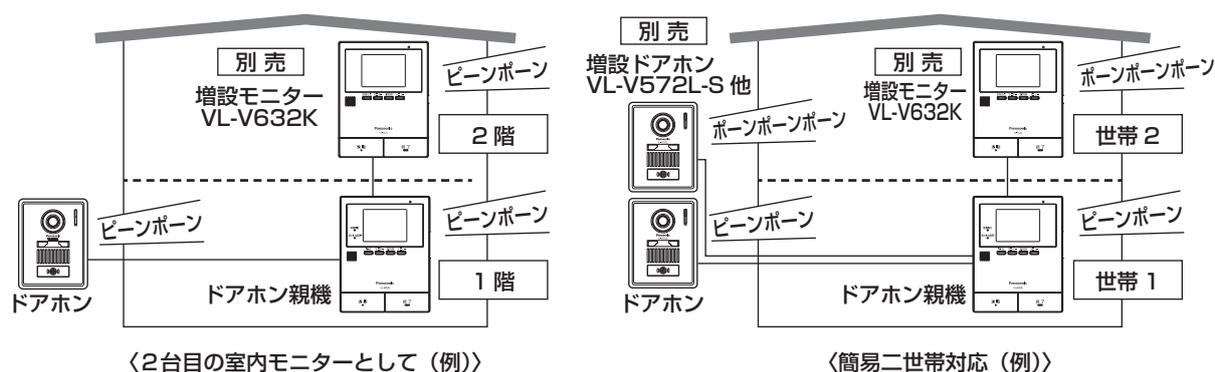
次のような録画・録音ができます。（SD カードの場合）

- 来客からの呼び出しに（ドアホン着信時）、約 30 秒の動画を自動で録画ができます。
- ドアホンとの通話中にモニターボタン（録画・録音）を押すと、最大 120 秒まで録画・録音することができます。
- ドアホン側の様子をモニター中に、モニターボタン（録画）を押すと、最大 30 秒まで録画することができます。
- あんしん応答機能を利用すると、相手の映像と音声自動的に記録（録画が約 35 秒まで、録音が約 20 秒まで）できます。

●録画時間と件数、対応の SD カードの詳細は本書 11 ページ。

(5) 増設モニターやドアホンの増設で簡易二世帯に対応

2 台目の室内モニターとして、増設モニター 1 台を接続できます。2 階などでも来客対応が可能です。1 階のドアホン親機と室内通話もできます。またもう 1 台ドアホンを増設し、「鳴り分け」設定により、ドアホン親機、増設モニターごとに着信させるドアホンを選択することができます。（簡易二世帯）



※増設モニター（VL-V632K）では録画の再生はできません。

※ドアホン親機と増設モニター間でドアホン通話の転送はできません。

- 特長・機能に記載されている接続機器（別売品・連携できる機器一覧）は本書 7 ページへ。
- 機能・特長に記載の詳細動作については、取扱説明書をご確認ください。

特長・機能			
セット品番	VL-SZ35KF	品番	—
品名	テレビドアホン 2-2 タイプ		

(6) 外部入力端子への接続

ドアホン親機の外部入力端子に住宅用火災警報器やガス警報機、非常ボタンが接続できます。

接続した機器が反応すると本機に警報通知します。

接続はいずれか1種類のみです。

＜火災警報器の場合＞

- ドアホン親機は警報音と音声（火災警報器が作動しました。確認してください。）、画面表示（警報機が反応しました。）で宅内に知らせます。
- ドアホンは、警報音と音声（火災警報器が作動しました。確認してください。）が流れ、LEDライトの点滅で屋外に通知します。
もしくはLEDライト点滅のみで屋外に知らせます。

＜ガス警報器の場合＞

- ドアホン親機は警報音と音声（ガス警報器が作動しました。確認してください。）、画面表示（警報機が反応しました。）で宅内に知らせます。
- ドアホンは、警報音と音声（ガス警報器が作動しました。確認してください。）が流れ、LEDライトの点滅で屋外に通知します。
もしくはLEDライト点滅のみで屋外に知らせます。

＜非常ボタンの場合＞

- ドアホン親機は警報音と音声（非常ボタンが押されました。確認してください。）、画面表示（非常ボタンが押されました。）で宅内に知らせます。
- ドアホンは、警報音と音声（非常ボタンが押されました。確認してください。）が流れ、LEDライトの点滅で屋外に通知します。
もしくはLEDライト点滅のみで屋外に知らせます。

※ドアホンを2台ご使用の場合も、通知ができるのはドアホン1だけです。

※ドアホン親機で設定が必要です。

※外部入力端子の検出設定として「A接点（メーク）」「B接点（ブレーク）」の選択ができますので、接続する機器の仕様を確認ください。

※増設モニター VL-V632K を接続している、ドアホン親機と同様に動作しますが、火災警報器／ガス警報器の警報音は親機と異なります。

- 接続機器として、コール機器も選択できます。なお、コール機器接続の場合は、屋内報知（報知音と画面表示）のみで、屋外（ドアホン）への通知はありません。

(7) その他の機能と特長

- 本機に電話／ファクスを接続し、ドアホン呼び出し（ドアホン着信）に応答できます。
- 本機に呼出音増設スピーカーを接続すると、ドアホン（来客）呼び出しがあったときに、呼出音を鳴らすことができます。また住宅用火災警報器や非常ボタンから通知があったときに、警報音を鳴らすことができます。
- その他、呼出音増設スピーカーや光るチャイムなどと連携ができます。

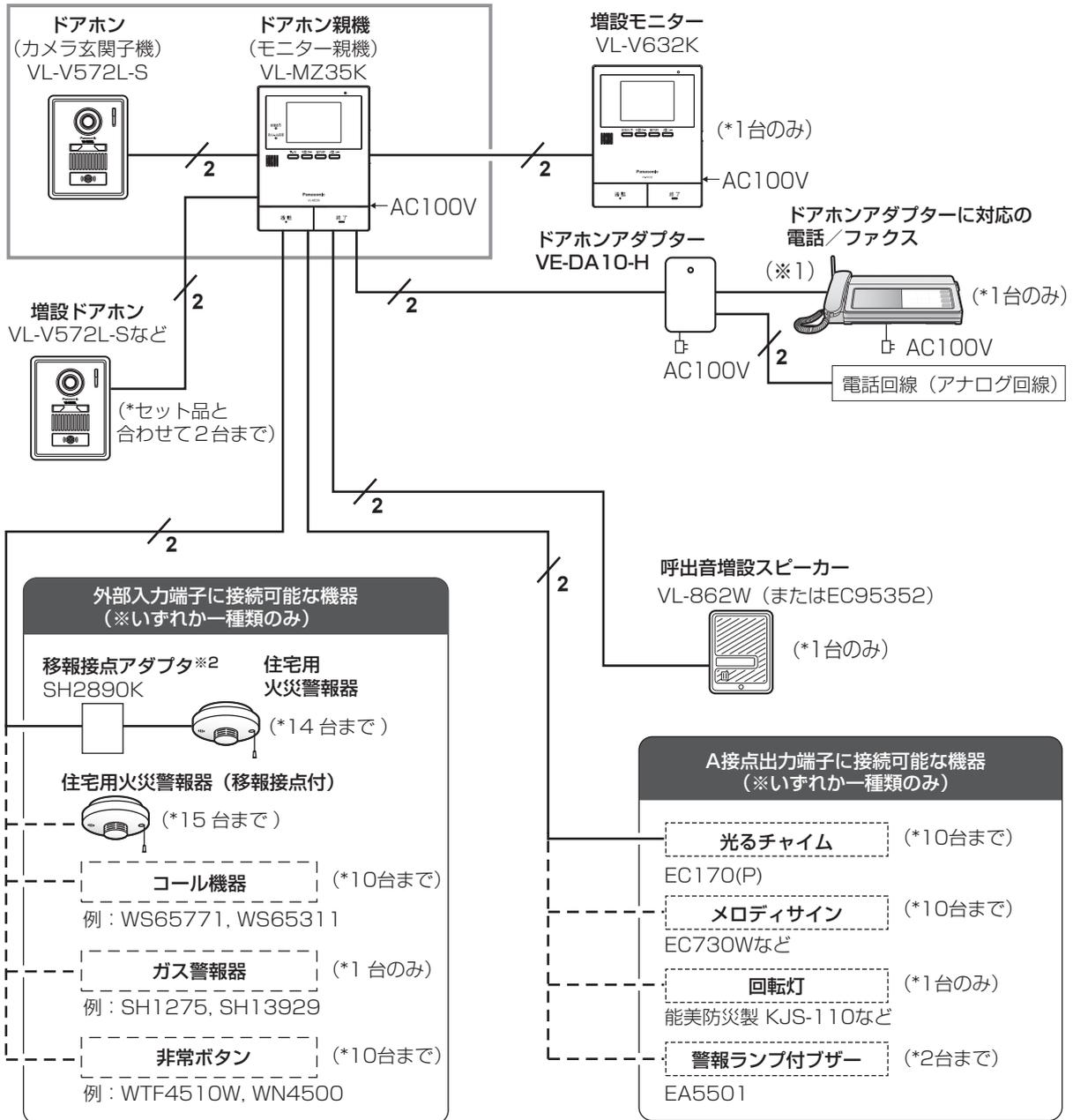
- 特長・機能に記載されている接続機器（別売品・連携できる機器一覧）は本書7ページへ。

- 機能・特長に記載の詳細動作については、取扱説明書をご確認ください。

特長・機能			
セット品番	VL-SZ35KF	品番	—
品名	テレビドアホン 2-2 タイプ		

システム構成例：VL-SZ35KF

□内はVL-SZ35KFのセット品です。



※ 1 ドアホンアダプターに付属の電話機コード (6 芯 約 2m) を使用します。

※ 2 ワイヤレス連動型の移報接点アダプタ「SH3290K」を接続することもできます。ドアホン親機と「SH3290K」間は有線接続です。「SH3290K」と、ワイヤレス連動型の火災警報器間は無線で連動します。

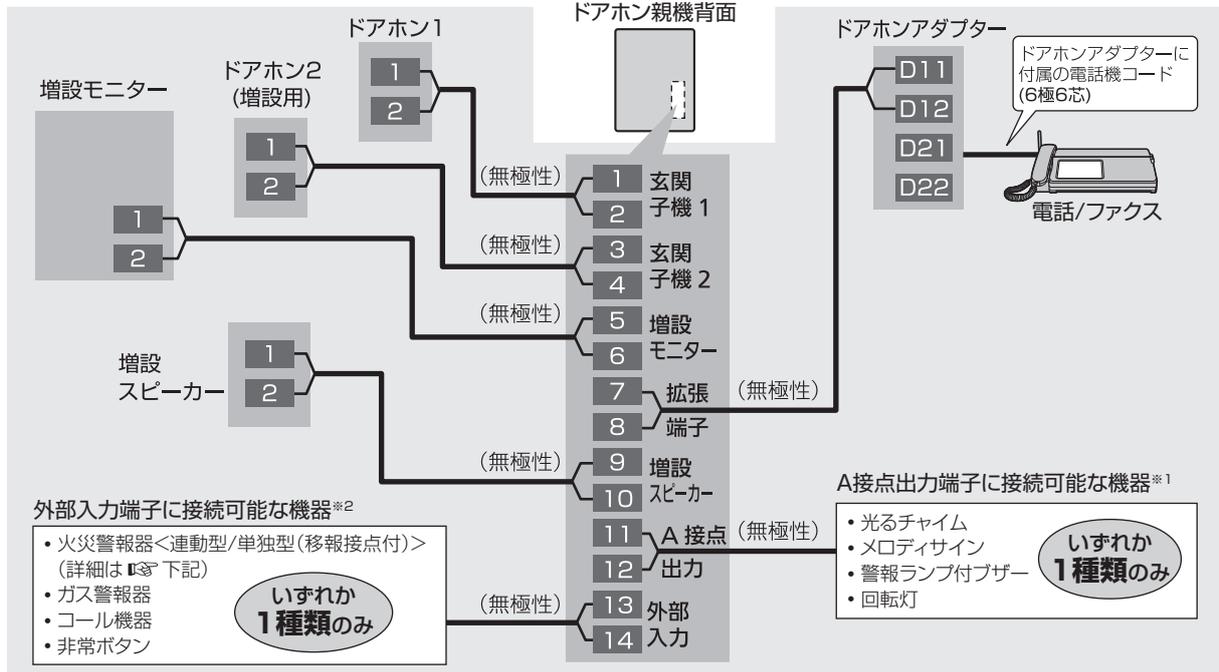
システム構成例：VL-SZ35KF

セット品番	VL-SZ35KF	品番	—
品名	テレビドアホン2-2タイプ (電源コード式)		

配線系統図

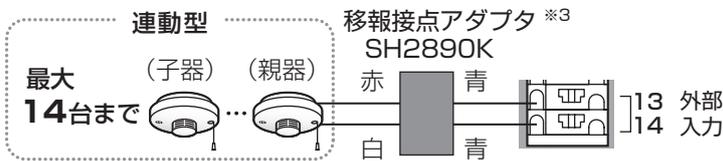
この配線系統図および「線種と配線距離について（本書 11 ページ）」に従って正しく配線してください。

- 接続できる機器の詳細（品番など）は、本書 7 ページをお読みください。



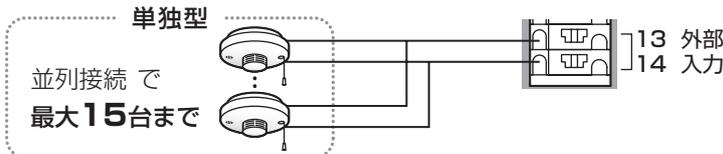
火災警報器を接続するとき（火災警報器のタイプによって接続方法が異なります）

■ 連動型の場合：移報接点アダプタが必要です



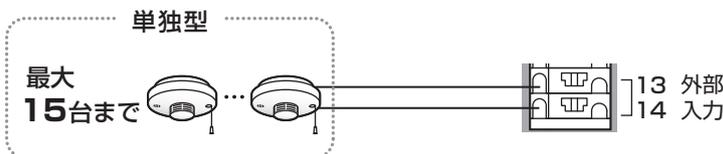
- ドアホン親機に直接、連動型の火災警報器を接続しないでください。(故障の原因)
- 移報接点アダプタとの配線時は、線の色を間違えないでください。(故障の原因)

■ 電池式・単独型（移報接点付）の場合



- 単独型を複数台接続する場合も、外部入力端子への入線は、1 端子あたり 1 本にしてください。

■ AC100V 端子式・単独型（移報接点付）の場合



配線系統図

セット品番	VL-SZ35KF	品番	—
品名	テレビドアホン 2-2 タイプ (電源コード式)		

- ※ 1 ● 下記の定格に適応した機器を接続してください。並列接続はできません。(故障の原因になります)
 定格負荷：AC、DC 24 V / 0.3 A 以下 最小適用負荷：DC 5 V / 1 mA
 ● 接続した機器の動作については、本機の取扱説明書および接続機器の説明書をお読みください。
- ※ 2 ● 下記の定格に適応した機器を接続してください。(A 接点 / B 接点のどちらの接点種別でも接続いただけます)
- | | | | |
|-----------|------------|-----------|--------------------|
| • 入力方式 | ： 無電圧メーク接点 | • 端子間開放電圧 | ： DC 7 V 以下 |
| • 検出確定時間 | ： 0.1 秒以上 | • 接点抵抗値 | メーク時 ： 500 Ω 以下 |
| • 端子間短絡電流 | ： 5 mA 以下 | | ブレーク時 ： 15 kΩ 以上 |
- 接続した機器をご使用になるには、接続機器の種別に合わせて「外部入力」設定の変更が必要です。
- ※ 3 ワイヤレス連動型の移報接点アダプタ「SH3290K」を接続することもできます。
- ドアホン親機と「SH3290K」間は有線接続です。
 - 「SH3290K」と、ワイヤレス連動型の火災警報器間は無線で連動します。
 - 設置の際は、ドアホン親機を移報接点アダプタと火災警報器から、それぞれ 1 m 以上離してください。(近接すると、移報接点アダプタと火災警報器間の電波到達距離が短くなる場合があります)
- 詳細は、「SH3290K」の説明書をお読みください。

配線系統図

セット品番	VL-SZ35KF	品番	—
品名	テレビドアホン2-2タイプ(電源コード式)		

構成品

- VL-SZ35KF の構成品です。

品名	品番	台数
ドアホン親機 (モニター親機)	VL-MZ35K	1
ドアホン (カメラ玄関子機) 露出型	VL-V572L-S	1

別売品・連携できる機器一覧

- 記載した情報は 2019 年 6 月現在のものです。内容は追加・変更になる場合があります。

品名		品番		システム追加台数	
ドアホン (カメラ玄関子機)*1	露出型	VL-V574L-N、VL-V572L-S、 VL-V570L-S、VL-V566-S、 VL-V557L-S、VL-V530L-S、 VL-V523L-N、VL-V522L-WS、 VL-V522L-S、VL-V521L-S		構成品と合わせて 2 台まで	
ドアホン (音声玄関子機)*1	露出型	VL-V500-K			
増設モニター		VL-V632K		1 台のみ	
電話 / ファクス		ドアホンアダプター 「VE-DA10-H (VEDA10)」*2 を 使って接続できる電話機またはファクス		1 台のみ	
増設スピーカー		VL-862W、EC95352		1 台のみ	
A 接点出力対応の接続機器	光るチャイム	EC170(P)		いずれ か 1 種類 のみ	10 台
	メロディサイン*3	乾電池式	EC5227W(P)、EC5117WKP、 EC5347		10 台
		AC100V 式	EC710K、EC730W		2 台
	警報ランプ付ブザー	EA5501			1 台のみ
回転灯	(株)パトライト製 KJS-110、KJSB-110、 KES-110		1 台のみ		
火災警報器	住宅用火災警報器 (単独型、移報接点付)	けむり当番	SHK28413、SHK48453	いずれか 1 種類 のみ	15 台まで
		ねつ当番	SHK28113、SHK48153		
		煙検知式	能美防災(株)製FSKJ222-S		
	熱検知式	能美防災(株)製FSLJ012-S			
移報接点アダプタ*4	SH2890K(連動型用) SH3290K(ワイヤレス連動型用)		1 台のみ		
ガス警報器	SH1275、SH13929		1 台のみ		
コール機器(コール用押しボタン)	WS65771、WS65311		10 台まで		
非常ボタン	WTF4510W、WN4500		10 台まで		

※ 1 付属と異なるドアホンは仕様や機能が異なります。増設の際は事前にご確認ください。

※ 2 電話 / ファクス接続時に必要です。

(本機には、配線なしで電話 / ファクスを接続するワイヤレスアダプター機能はありません)

※ 3 オートストップ機能付きの EC5347、EC730W をお勧めします。

(オートストップ機能がない場合、30 秒間チャイムが鳴動します)

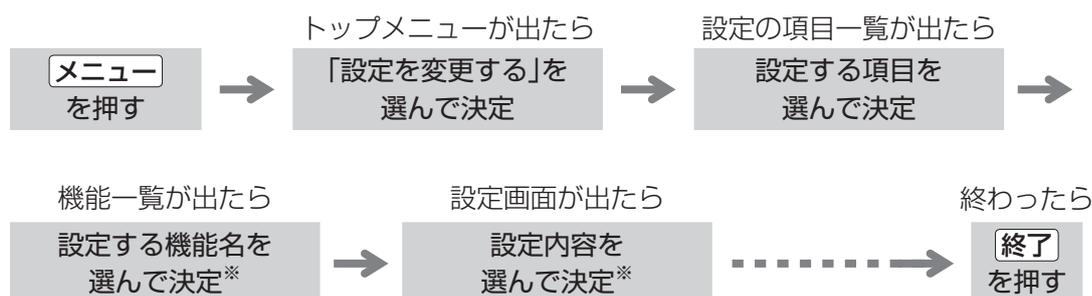
※ 4 連動型の火災警報器を接続するためのアダプタで、14 台まで火災警報器を接続できます。

(接続できる火災警報器は、移報接点アダプタの説明書でご確認ください)

構成品 / 別売品・連携できる機器一覧

セット品番	VL-SZ35KF	品番	—
品名	テレビドアホン 2-2 タイプ (電源コード式)		

機能設定一覧（設定方法と一覧表）



※機能によっては、表示に従ってこの操作を繰り返します。

「最初の設定」の機能一覧

機能名	設定内容など	初期値
日時設定	● 日時の設定画面が出たら、現在の日付・時刻に設定します。	2019年1月1日 0時00分
ワイド/ズーム設定*	ドアホンごとに設定（ドアホン1、2） 来客時：ズーム、ワイド モニター時：ズーム、ワイド ● ドアホンの来客時やモニター時の映像表示のしかたをそれぞれ設定できます。	ワイド
ズーム位置設定*	ドアホンごとに設定（ドアホン1、2） ● ズーム画面のとき、最初に表示する位置を設定します。	ワイド画面の中央

※増設ドアホンについては、ドアホンが広角レンズの場合のみ表示されます。

「呼出音の設定」の機能一覧

機能名	設定内容など	初期値
呼出音量	ドアホン：大、中、小、切	大
	室内呼：大、中、小	
	外部入力（コール機器）：大、小、切	
呼出音	ドアホンごとに設定（ドアホン1、2） （音の種類）：音1、音2、音3 （鳴りかた）：押すたび（押すたびに鳴る）、繰り返し（5秒ごとに鳴る）	（ドアホン1） 音1、押すたび （ドアホン2） 音2、押すたび

機能設定一覧（設定方法と一覧表）

セット品番	VL-SZ35KF	品番	—
品名	テレビドアホン2-2タイプ（電源コード式）		

「応答の設定」の機能一覧		
機能名	設定内容など	初期値
音声応答	する、しない ● ドアホンからの呼び出しに音声応答できるようにするには「する」を選びます。 (「する」に設定しても通話ボタンでの応答はできません)	しない
鳴り分け		
親機	ドアホン1：鳴る、鳴らない ドアホン2：鳴る、鳴らない	鳴る
増設モニター		
拡張機器・ ドアホンアダ プター		

「録画再生の設定」の機能一覧		
機能名	設定内容など	初期値
ドアホン録画 開始時間	標準、遅い ● ドアホン着信時の自動録画で、夜間などの映像が映りにくいときは「遅い」を選び ます。 「標準」：呼び出しの約2秒後に録画を開始 「遅い」：呼び出しの約3秒後に録画を開始	標準
ドアホン着信 自動録画	ドアホン1：する、しない ドアホン2：する、しない ● ドアホン着信時に自動録画をするかしないかを選びます。	する
画像全消去	本体メモリー：すべての画像を消去、保護画像を残して消去 SDカード：すべての画像を消去、保護画像を残して消去	—
SDカードの フォーマット	● 他の機器で使用していたSDカードを本機で使える状態にします。	—
本体から SDカードへの コピー	● 本体メモリーに記録した録画データをSDカードにコピーします。	—

機能設定一覧（設定方法と一覧表）

セット品番	VL-SZ35KF	品番	—
品名	テレビドアホン2-2タイプ（電源コード式）		

「接続機器の設定」の機能一覧		
機能名	設定内容など	初期値
ドアホン接続	ドアホン1：あり、自動判定、なし ドアホン2：あり、自動判定、なし ● 使用をやめてドアホン親機から取り外すときは「なし」を選びます。	(ドアホン1) あり (ドアホン2) 自動判定
増設モニター	あり、なし ● 使用をやめてドアホン親機から取り外すときは「なし」を選びます。	あり
A接点出力	ドアホン1：ON、OFF ドアホン2：ON、OFF ● 光るチャイムなどA接点出力端子に接続した機器は、この設定が「ON」のドアホン着信に連動します。連動させたくないドアホンは「OFF」に設定してください。	ON
外部入力	(接続する機器を設定)：火災警報器、ガス警報器、コール機器、非常ボタン、 接続なし ● 機器を選択後、接点種別を設定 : A接点(メーク)、B接点(ブレーク) ● 「火災警報器」「ガス警報器」「非常ボタン」を選択時はさらに、ドアホンへの警報通知のしかたを設定 : LEDライト点滅+警報音、LEDライト点滅のみ、警報なし ● 外部入力端子に接続する機器の種類と接点種別を選びます。火災警報器、ガス警報器、非常ボタンを選んだときは、ドアホンへの警報通知の方法も設定できます。	火災警報器、 A接点(メーク)、LEDライト点滅+警報音
ドアホン照明自動点灯	ドアホンごとに設定(ドアホン1、2) 来客時 : する、しない モニター時: する、しない ● ドアホンの映像表示の際(来客時やモニター時)、外が暗いときに自動でドアホンの照明(LEDライト)を点灯させるかどうかを選びます。	する

「その他の設定」の機能一覧		
機能名	設定内容など	初期値
新着ありランプ点灯	する、しない ● 新しく録画した未確認画像があっても、新着ありランプが点灯しないようにしたいときは、「しない」を選びます。	する
初期化	設定を元に戻す、本体メモリー画像全消去、出荷時に戻す ● 本機を譲渡・廃棄・返却するときは、「出荷時に戻す」を選びます。	—
展示モード(販売店専用)	ドアホン自動呼出なし、ドアホン自動呼出あり、しない 通常は使わないでください。(店頭販売時の展示用)	しない

機能設定一覧 (設定方法と一覧表)

セット品番	VL-SZ35KF	品番	—
品名	テレビドアホン2-2タイプ(電源コード式)		

線種と配線距離について

(下表の記載以外で使用すると、動作不良の原因になります)

配線区間	線種	配線距離(総延長)
ドアホン～ドアホン親機～増設モニター ※	インターホン用平行2線式ケーブル 単芯線(mm):φ0.65～φ0.9	100m以内
ドアホン親機～ドアホンアダプター		75m以内
ドアホン親機～増設スピーカー	ドアホン親機接続端子の許容線種 単芯線(mm):φ0.65～φ0.9	接続する機器の 仕様に従う
ドアホン親機～A接点出力端子に 接続可能な機器		50m以内
ドアホン親機～外部入力端子に 接続可能な機器		

※増設モニターを接続する場合は、「ドアホン」～「ドアホン親機」～「増設モニター」間の配線距離の合計が100m以内になるように配線してください。

録画・録音機能について

映像・音声の記録について

ドアホンの映像と音声はドアホン親機の本体メモリーに記憶され、ドアホン親機にSDカードを入れるとSDカードに記録されます。(記録先は選べません)
記録できる内容は下記のとおりです。

■ドアホン親機の本体メモリー

状態	1件あたりの記録内容
着信時	録画:約1秒おきの静止画 (8枚まで)
モニター時	録音:なし
通話時	録画:約1秒おきの静止画 (8枚まで)
あんしん応答	録音:約20秒まで

■SDカード

状態	1件あたりの記録内容
着信時	録画:動画(約30秒まで)
モニター時	録音:なし
通話時	録画:動画(約120秒まで) 録音:あり
あんしん応答	録画:動画(約35秒まで) 録音:約20秒まで

録画件数について

■親機の本体メモリー

録画件数:50件(すべて録音なしの場合)
20件(すべて録音ありの場合)
最大保護件数:5件

●SDカードの録画件数の目安

- ・未使用のSDカードを使用
- ・通話時で録画時間が約30秒の場合

容量	録画件数	容量	録画件数
2GB	250件	32GB	3000件 (録画件数の上限)
4GB	500件	48GB	
8GB	1000件	64GB	
16GB	2000件	128GB	

■SDカード

録画件数:右記の目安
最大保護件数:20件

録画がいっぱいになったとき(録画の自動更新)

新しい画像を録画するために、古い画像から順に自動で消去されます。(手動で画像を消去しなくても、録画できます)

ただし、未確認の画像でも消去されるため、消したくない画像は保護設定してください。

使用上のお願い

■プライバシー・肖像権について

ドアホンの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

線種と配線距離/録画・録音機能について/使用上のお願い			
セット品番	VL-SZ35KF	品番	—
品名	テレビドアホン2-2タイプ(電源コード式)		

■ 火災警報器・ガス警報器・非常ボタンとの連携について

本製品の故障・不具合・誤動作などによる不通知・誤通知に関しては、当社は保証書に基づき本製品を修理することを除き、責任を負いかねることをご了承ください。

■ 個人情報について（修理・譲渡・破棄など）

ドアホン親機の本体メモリー（内蔵）やSDカードには、来客映像・音声などの録画・録音データ（個人情報）が、記録されます。これらの記録された情報の流出による不測の損害などを回避するために、お客様の責任において管理してください。

〈免責事項〉

記録された情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。記録された情報の変化、消失が生じて、それらに起因する直接または間接の損害については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

〈本製品の修理を依頼するとき〉

- ドアホン親機の本体メモリー（内蔵）に記録された録画・録音データは、修理依頼の前に必要に応じてSDカードにコピーし、ドアホン親機から取り出して保管してください。
- データの確認・保管後、「初期化」の「出荷時に戻す」を行い、ドアホン親機の本体メモリーに記録された情報を消去してください。
 - ・故障の状態により、本製品の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

〈本製品を譲渡・廃棄・返却するとき〉

ご使用のSDカードはドアホン親機から取り出し、「初期化」の「出荷時に戻す」を行ってドアホン親機の本体メモリーに記録された情報を消去してください。

設置上のお願ひ

設置場所について

■ こんなところには設置しない（故障や動作障害などの原因になります）

〈ドアホン・ドアホン親機共通〉

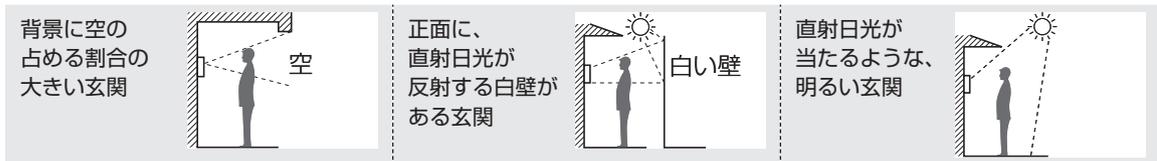
- 振動、衝撃のあるところ
- 反響の多いところ
- 硫化水素、アンモニア、硫黄、ほこり、有毒ガスなどの発生するところ

〈ドアホン親機〉

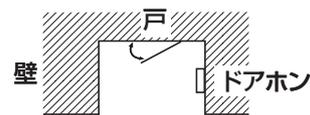
- 火気・熱器具・冷暖房機の近くや直射日光の当たるところ（誤動作・変形・故障の原因）
- テレビ、ラジオ、パソコンなどのOA機器、エアコンなどの近く（故障や動作障害などの原因）
- 温度変化が激しいところ（結露による誤動作の原因）

■ ドアホンの設置について

- 底面の水抜き穴をふさいだり、北向きに設置すると結露しやすくなります。
 - ・ ドアホン周囲の温度差によって、ドアホンのカメラレンズが結露し、映像が見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。
 - ・ 断熱材（発泡スチロールなど）を用いて、壁の穴を埋めるか、壁とドアホンの間に挟むと結露しにくくなります。
- 逆光になる場所への設置は避けてください。（来訪者の顔が暗く映り、識別しにくくなります）



- 右図のように反響の多い場所では、「ピー」という音（ハウリング）が生じることがあります。
- ドアホンの防水性はIPX3*です。
*鉛直から両側に60°までの角度で噴霧した水によっても有害な影響を及ぼさないレベル
- 背面に水などが直接かからないようにしてください。
- 近傍に照明がある場合、遮光や減光が必要な場合があります。（照明光の映り込みや夜間の映像劣化防止）

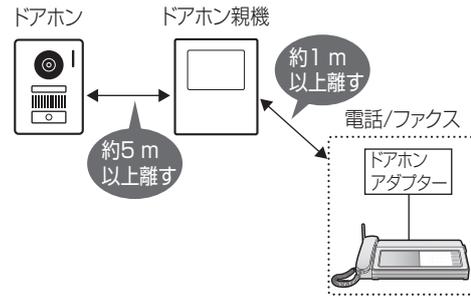


使用上のお願ひ / 設置上のお願ひ

セット品番	VL-SZ35KF	品番	—
品名	テレビドアホン2-2タイプ（電源コード式）		

■ ドアホン親機の設置について

- 本体の上下左右に 20 cm 以上の空間をとってください。(誤動作や通話の途切れ防止)
- 壁を深くくぼませたスペースへの設置はできるだけ避けてください。(誤動作や通話の途切れ防止)
- 本体を埋め込まないでください。
- 右図のように、ドアホンとの間は約 5 m 以上、別売の電話 / ファクス (ドアホンアダプター含む) との間は約 1 m 以上離してください。(ハウリングなどの通話障害や通話の途切れ防止)
- 携帯電話の基地局やテレビ局の近くなど、強電界地域や電波を発する無線局周辺では、映像や音声にノイズなどが入ることがあります。



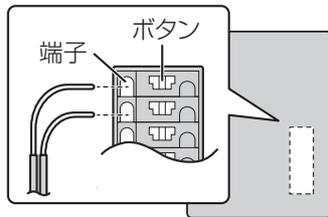
■ 工事について (工事には、電気工事士の資格が必要です。)

- 電源について：必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続する。
 - (1) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置 (電源プラグ) に容易に手が届くこと。
 - (2) 3 mm 以上の接点距離を有し、容易にアクセス可能な分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。
- 既存または新設のドアホン配線などを接続する場合は、接続工事の前に、必ず大地アースと配線との絶縁抵抗、配線 2 線間の絶縁抵抗、および配線の線路抵抗値 (直流ループ抵抗) を測定の上、下記の抵抗値と照合し、異常のないことを確認してから接続工事を行う。

絶縁抵抗値	DC500 V にて 1 MΩ 以上
線路抵抗値	直流抵抗計にてループ抵抗 10 Ω 以内 (配線距離 100 m 以内で)

- 本機は電気設備技術基準による施工を行う。
 - ・使用する埋込みボックスに、堅牢な隔壁 (電源線とその他の信号配線材の間) を設ける。
 - ・金属ボックスを使用する場合は D 種接地を行う。
 - ・配線材は AC600 V 以上の絶縁電線を使用する。
- ノイズ障害が考えられる場合は、金属配管の中に接続線を通して工事を行う。(金属管は必ず大地アースをすること)
- AC100 V 以上の電力線 (電灯線) とは 1 m 以上離して配線工事するか、別々の金属管による配管工事を行う。(映像の乱れや通話ノイズなどの防止)
- ドアホン親機の信号線接続端子は、速結端子になっているため以下の方法での結線を行う。(接続できる線種などについては本書 (P.11) 「線種と配線距離について」)

< ドアホン親機背面 >



配線材を挿入する場合

- ・配線材の被ふくを 9 mm むく。
- ・ドライバーの先などでボタンを押しながら配線材を確実に端子に挿入する。

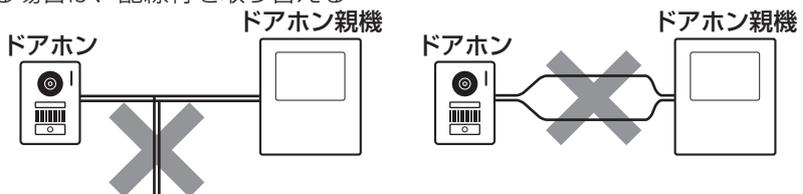
配線材を抜く場合

- ・ドライバーの先などでボタンを押しながら配線材を引き抜く。

- 誤配線、ショートなどが無いことを確認後、ドアホン親機の電源を入れる。

■ 既設 (チャイム / ベル / ブザー / テレビドアホン / 音声ドアホン) の配線を使用して本機を取り付けるとき

- 既設の配線に電源 (AC100 V、24 V など) が接続されている可能性があるため、必ず電気工事士の資格を持つ方が工事をしてください。(誤って接続すると故障の原因になります)
- 工事の際は、まず既設配線の電源を切り、配線材の線種と配線距離を確認してから配線してください。
 - ・本書の「線種と配線距離について」の内容に合わない場合、正常に動作しないことがあります。
 - ・線種が $\phi 1.2$ mm を超える場合は、配線材を取り替える
 - ・線種が「より線」のときは、指定の方法で接続する (P.18 「ドアホン親機を取り付ける」の手順 3)
 - ・ドアホン親機とドアホン間に不要な配線材があるときは、取り除くか新たに配線してください。また、上記のように配線材を分岐したり、極端にばらしたりしないでください。正常に動作しないことがあります。



設置上のお願い

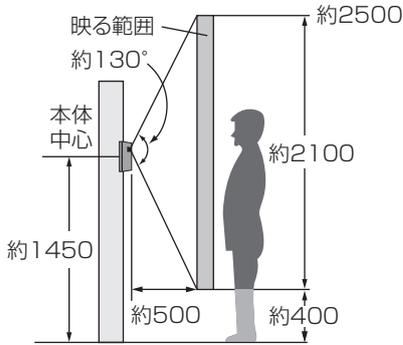
セット品番	VL-SZ35KF	品番	—
品名	テレビドアホン 2-2 タイプ (電源コード式)		

ドアホンの取り付け位置を決める

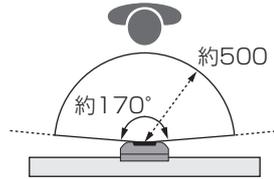
ドアホンの取り付け位置（高さ）と撮影範囲

来客から呼び出されたとき（着信時）の撮影範囲は、ドアホン親機の「ワイド/ズーム設定」でワイドまたはズームのどちらかに設定できます。
（図中の寸法単位：mm）

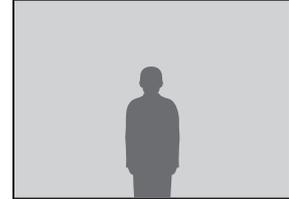
■ ワイドのとき <お買い上げ時>



【上から見た場合】



【ドアホン親機の表示イメージ】



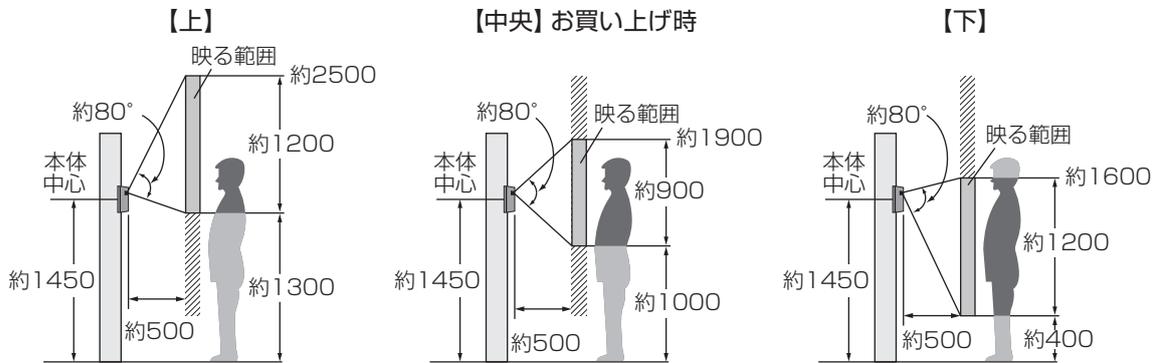
■ ズームのとき

ワイド時の撮影範囲の一部を縦横約2倍に拡大表示します。
・ズーム時の撮影範囲は、ドアホン親機の「ズーム位置設定」で任意の位置から選べます。
下記を参考にドアホン親機で設定してください。

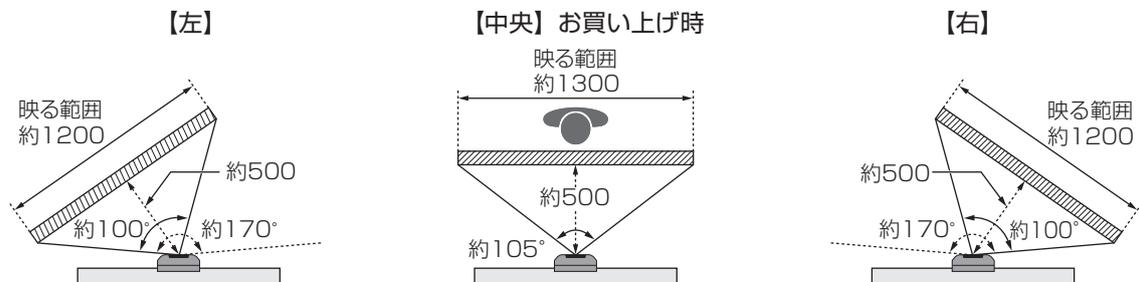
【ドアホン親機の表示イメージ】



上下方向



左右方向（上から見た図）



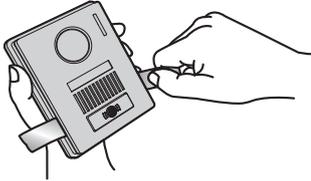
ドアホンの取り付け位置を決める

セット品番	VL-SZ35KF	品番	—
品名	テレビドアホン2-2タイプ（電源コード式）		

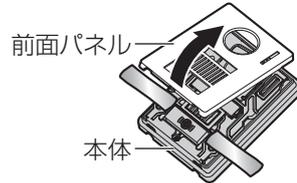
ドアホンを取り付ける

1 前面パネルと露出ケースを外す

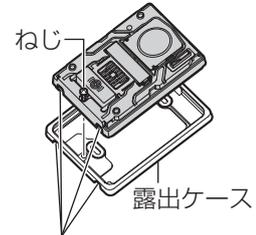
① 両端に出ている青色テープを片方ずつ手前に強く引っ張り、前面パネルの下側を本体から外す(ロックが外れる)



② 前面パネルの下側(本体から外れた部分)を持って強く引っ張り、本体から完全に取り外す



③ 青色テープを外して下図のねじをゆるめ、露出ケースを外す



ロックが外れなかったとき

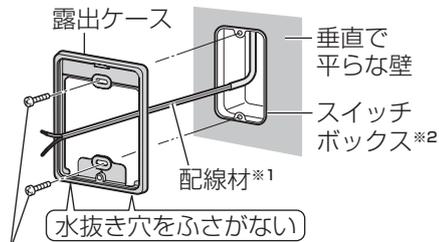
底面の穴に⊖ドライバーを差し込んで押し下げ、前面パネルを持ち上げてください。(パネルを傷つけないようご注意ください)



水抜き穴：4か所
(設置時にふさがらない)

2 露出ケースを壁面に確実に取り付ける

■ スイッチボックスの場合



付属の小ねじ(4 mm × 25 mm)

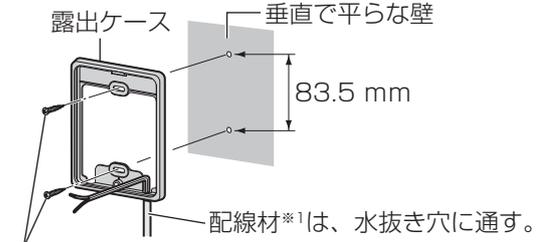
※ 1 既設の配線材を使用する場合

- 壁の中から出ている配線材が「3本線またはそれ以上」「直径1.6 mm以上の単線」「断面積1 mm²以上のより線」のときは、電源線(AC100 Vなど)の可能性があります。工事は販売店にご相談ください。(電気工事士の資格がないと、電源工事はできません)
- 電圧がかかっている配線材をドアホンに接続すると、機器が壊れます。

※ 2 JIS 1 個用スイッチボックス

底面に穴(スリット)がない場合は、水抜きのため穴を開けてください。

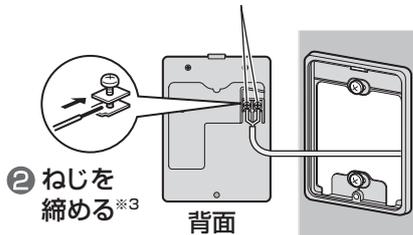
■ 壁の場合(露出配線)



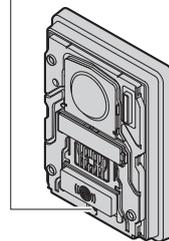
付属の木ねじ
(3.8 mm × 20 mm)

3 本体に配線材を接続して露出ケースに固定し、前面パネルを元のように取り付ける

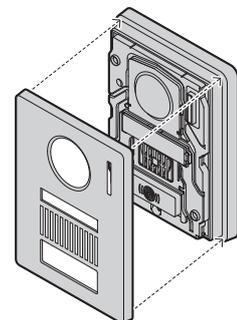
① ねじをゆるめ、配線材を差し込む



③ 露出ケースに取り付けてねじを締める*3



④ 前面パネルを取り付ける



※ 3 電動ドライバーなどを使う場合は、ねじの破損防止のため、締め付けトルクを0.7 N・m (7 kgf・cm) 以下に設定してから固定してください。

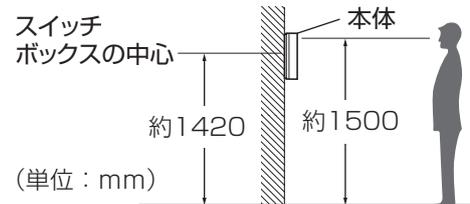
ドアホンを取り付ける

セット品番	VL-SZ35KF	品番	—
品名	テレビドアホン2-2タイプ(電源コード式)		

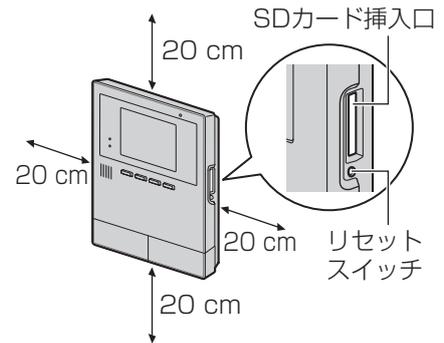
ドアホン親機の取り付け位置を決める

本体と壁掛け金具の取り付け位置

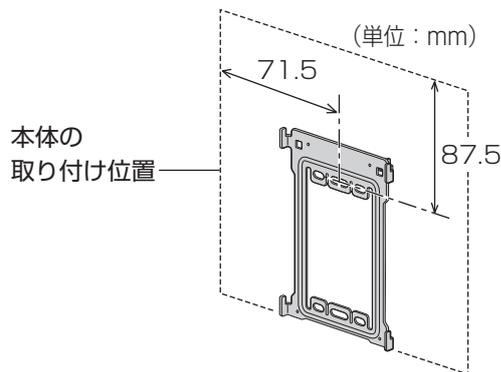
- 本体は、よくご利用になる方の目の高さに画面の中心がくるよう取り付けてください。
(右図は、画面の中心を床から約 1500 mm の高さにするときの例です)



- 本体の上下左右には、下記のための空間を 20 cm 以上とってください。
 - ・誤動作や通話の途切れ防止
 - ・SD カードの出し入れや、リセットスイッチの操作



- 本体の取り付け位置が決まったら、壁掛け金具は下図の位置に取り付けてください



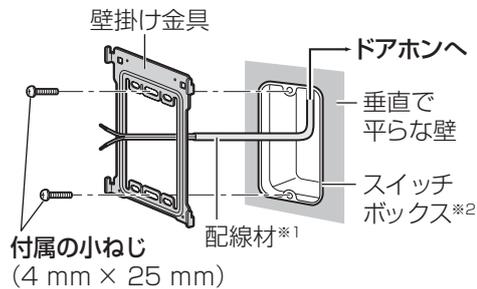
ドアホン親機の取り付け位置を決める

セット品番	VL-SZ35KF	品番	—
品名	テレビドアホン2-2タイプ(電源コード式)		

ドアホン親機を取り付ける

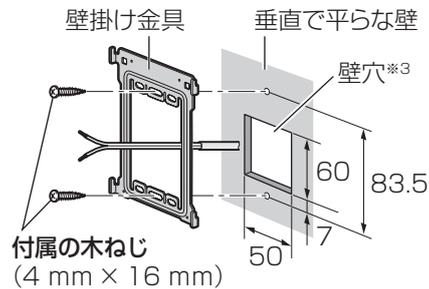
1 付属の壁掛け金具を壁面に確実に取り付ける

■ スイッチボックスの場合



■ 壁の場合

(単位：mm)



※1 既設の配線を使用する場合

- 壁の中から出ている配線材が「3本線またはそれ以上」「直径1.6mm以上の単線」「断面積1mm²以上のより線」のときは、電源線(AC100Vなど)の可能性があります。工事は販売店にご相談ください。(電気工事士の資格がないと、電源工事はできません)
- 電圧がかかっている配線材をドアホン親機に接続すると、機器が壊れます。

※2 JIS 1 個用スイッチボックス

電源線とその他の信号配線材などが混在する場合は、絶縁セパレーターを取り付けてください。

※3 スイッチボックスを使用せずに壁の中から配線する場合に、壁穴を開けてください。

■ パネル壁(石こうボード)の場合

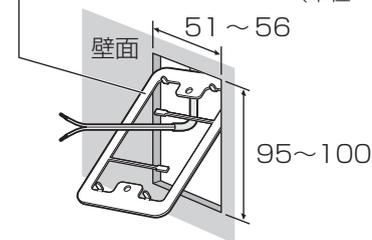
壁に下図のように穴を開け、脱落を防止するため、右記のはさみ金具を使って取り付けてください。

はさみ金具：パナソニック(株)製

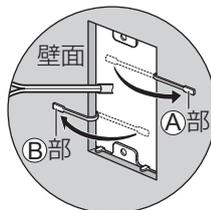
品番	対象壁
WN3996020 (20個入り)*	9mm～30mm厚の 石こうボード

※単品でのお取り扱いについては、販売店にお問い合わせください。

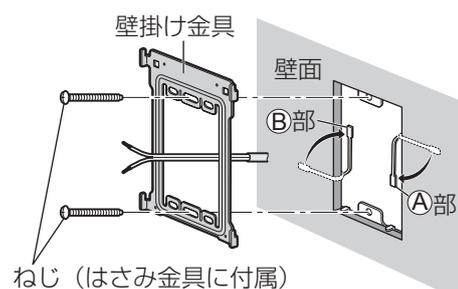
① はさみ金具を壁面の裏側に入れる
(単位：mm)



② (A)部・(B)部を図のように折り曲げ、はさみ金具を壁面に仮固定する



③ 壁掛け金具とはさみ金具を、ねじで仮止めする



④ (A)部・(B)部を壁端面まで戻し、ねじを締めて固定する

- (A)部・(B)部を、壁掛け金具と壁面に挟み込まないようにしてください。

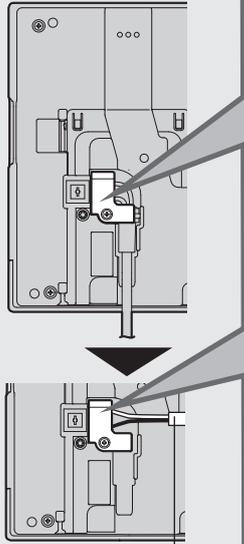
ドアホン親機を取り付ける

セット品番	VL-SZ35KF	品番	—
品名	テレビドアホン2-2タイプ(電源コード式)		

AC100 V 電源線を直結する場合（電気工事士の資格がない方は、絶対に作業しないでください）

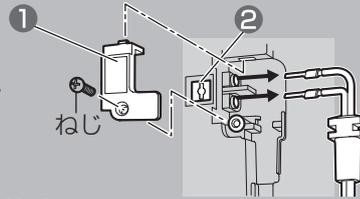
2 AC100 V 電源線を接続する

<ドアホン親機背面>



電源線は必ず横向きに引き出してください。

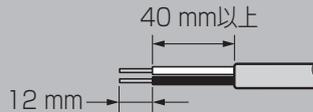
- 1 カバーを取り外す
- 2 ドライバーの先などでボタンを押しながら、電源コードを取り外す



- 3 AC100 V電源線を下記のように接続する

1. 被ふくを12 mmむく
(線種:φ1.6~φ2.0単芯線)

2. ドライバーの先などでボタンを押しながら、奥まで確実に差し込む



<AC100 V電源線接続端子断面図>

- 4 カバーを取り付ける

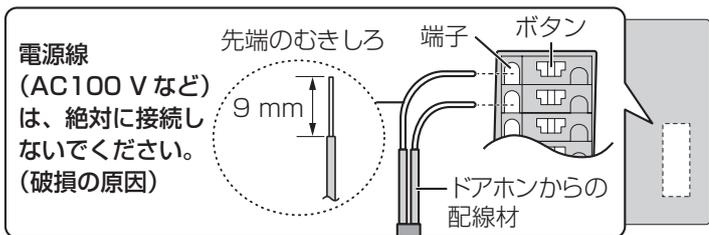
注意

奥まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、発熱の原因になることがあります。

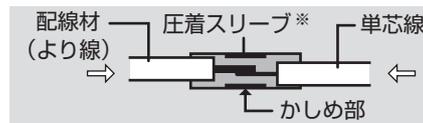
3 配線材を接続する

- 配線系統図に従って正しく接続してください。
- 配線材は、各端子の横にあるボタンをドライバーの先などで押しながら抜き差ししてください。

ドアホン親機背面

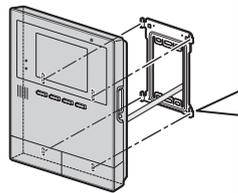


- 配線材の線種が「より線」の場合
単芯線と結線して使用する
結線部をハンダ付処理してテーピングで絶縁するか、市販の単芯線(50 mm 以上)と圧着スリーブで圧着処理を行ってください。(結線部をよじっただけでは、接触不良になるおそれがあります)

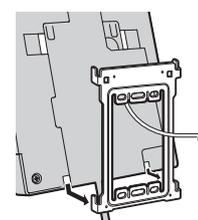


※手順 4 で、圧着スリーブを壁掛け金具に挟み込まないように注意してください。

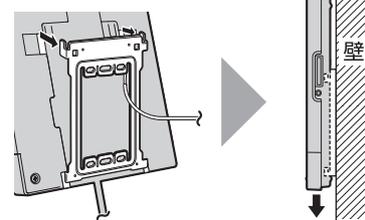
4 ドアホン親機を取り付ける



- 1 金具の下ツメを本体の溝に合わせる



- 2 金具の上ツメを本体の溝に合わせ、本体を押し下げて固定する



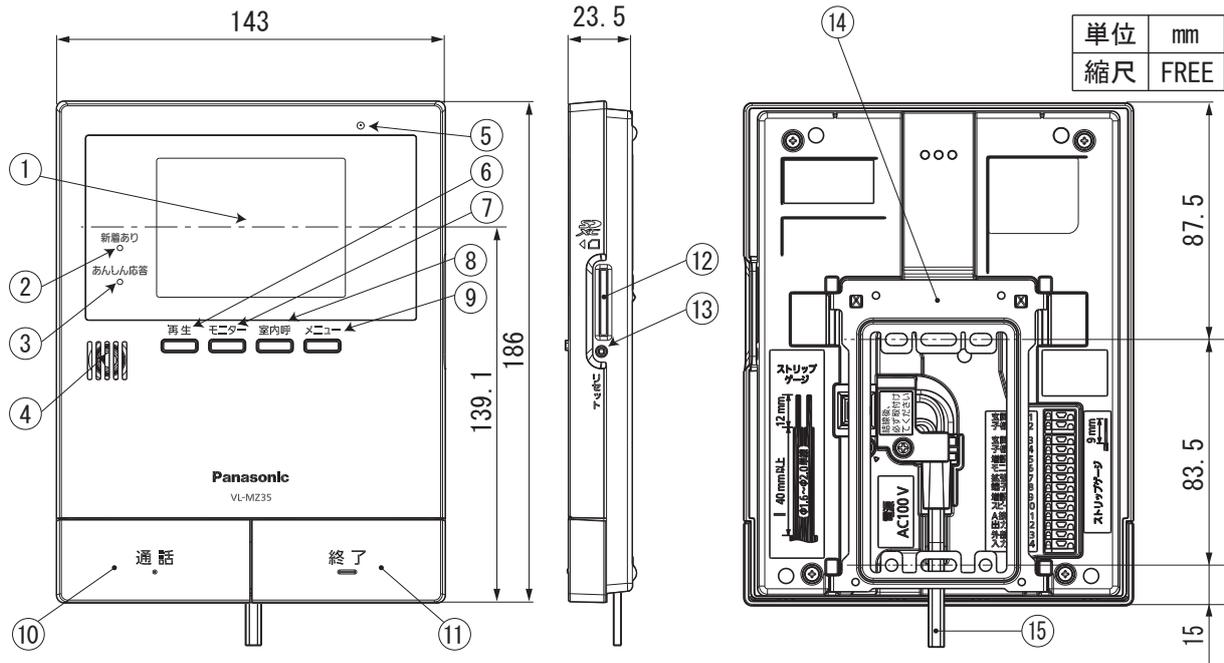
5 [電源プラグで使用する場合のみ] 電源プラグのキャップを外して、コンセント (AC100 V) に差し込む

- 落雷による機器の故障を防止するために、雷サージ防止付きのコンセント（市販品）に差し込むことをお勧めします。

ドアホン親機を取り付ける

セット品番	VL-SZ35KF	品番	—
品名	テレビドアホン2-2タイプ (電源コード式)		

- ・ドアホン親機は、電源コードを外すと電源直結式になります。
- ・ドアホン親機の単品販売はおこなっておりません。



番号	名称	番号	名称	番号	名称	番号	名称	番号	名称
①	液晶ディスプレイ	④	スピーカー	⑦	モニターボタン	⑩	通話ボタン	⑬	リセットボタン
②	新着ありランプ	⑤	マイク	⑧	室内呼ボタン	⑪	終了ボタン	⑭	壁掛け金具
③	あんしん応答ランプ	⑥	再生ボタン	⑨	メニューボタン	⑫	SDカード挿入口	⑮	電源コード

■ 仕様

電源	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)
消費電力	待機時約 2.3 W、動作時約 8 W
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)	約 186 × 143 × 23.5 (突起部除く)
質量	約 440 g (壁掛け金具無し) 約 475 g (壁掛け金具有り)
使用環境条件	周囲温度：0℃～+40℃ 湿度：90%以下
画面表示	約 3.5 型カラー液晶ディスプレイ
通話方式	音声交互自動切替方式
取付方法	露出壁掛け (壁掛け金具付属)
外観材質	難燃性 ABS 樹脂 (一部 PS)
外観色調	ホワイト
A 接点出力端子※ 1	定格負荷：AC、DC 24 V / 0.3 A 以下 最小適用負荷：DC 5 V / 1 mA
外部入力端子	入力方式：無電圧メーク接点 検出確定時間：0.1 秒以上 接点抵抗値 ・メーク時：500 Ω 以下 ・ブレイク時：15 kΩ 以上 端子間短絡電流：5 mA 以下 端子間開放電圧：DC 7 V 以下

モニター画面に映像が映る時間	・着信時：約 30 秒 (あんしん応答時：約 35 秒) ・モニター時：約 180 秒 ・通話時：約 120 秒 ・プレストーク通話時：最大 120 秒 ・インターホン/ドアホンアダプター 接続電話で通話時：約 120 秒※ 2
非常警報音量	住宅火災警報器/非常ボタン/ガス警報器の警報音量：70 (dBA) 以上 (親機の中心から前方 1 m で測定)
呼出音量	80 (dBA) 以上 (親機の中心から前方 50 cm で測定)

- ※ 1 光るチャイムなどを接続したときは、ドアホンから呼び出しがあった場合などに信号を出力します。
- ※ 2 表示映像は約 120 秒経過後に消灯しますが、通話は継続します。

< SD カードについて >

対応カードの種類	SD メモリーカード※ 3：2 GB SDHC メモリーカード※ 3：4 GB～32 GB SDXC メモリーカード※ 3：48 GB、64 GB、128 GB
フォーマット	SD メモリーカード：FAT16 SDHC メモリーカード：FAT32 SDXC メモリーカード：exFAT

※ 3 専用アダプターを使うと次のカードも使えます。

- ・ miniSD メモリーカード / microSD メモリーカード
- ・ miniSDHC メモリーカード / microSDHC メモリーカード
- ・ microSDXC メモリーカード

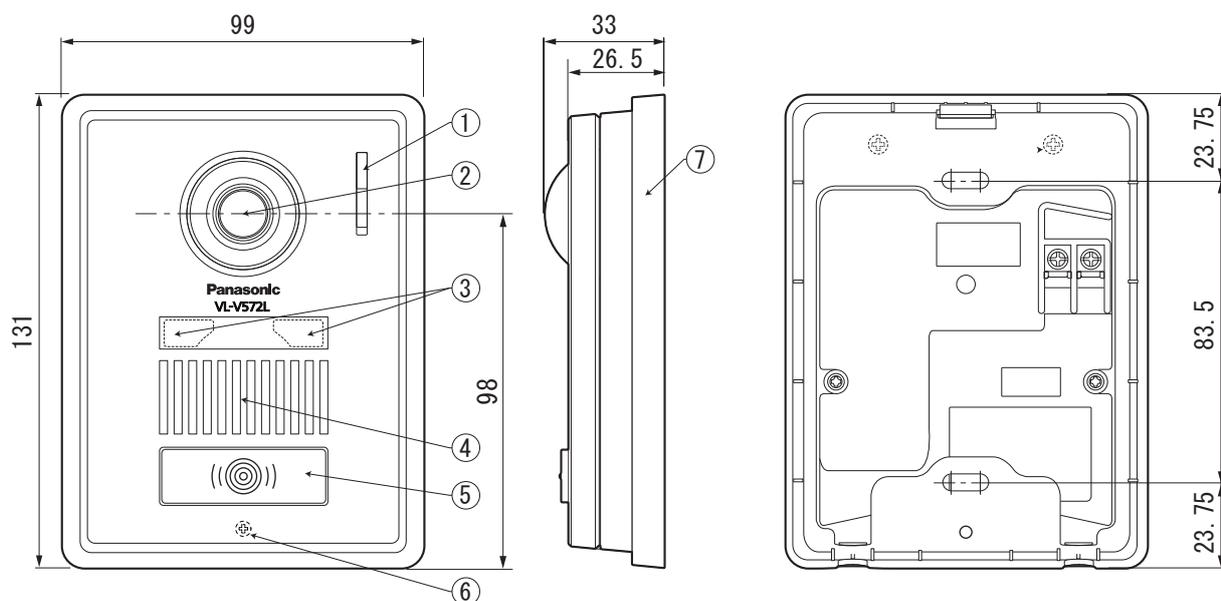
■ 付属品

- ・ 壁掛金具 1
- ・ 壁掛け用小ねじ (4 mm × 25 mm) 2
- ・ 壁掛け用木ねじ (4 mm × 16 mm) 2

外形寸法図/仕様/付属品

セット品番	VL-SZ35KF	品番	VL-MZ35K
品名	ドアホン親機 (モニター親機)		

単位	mm
縮尺	FREE



番号	名称	番号	名称	番号	名称	番号	名称
①	マイク	③	LED ライト (照明用)	⑤	呼出ボタン・ランプ (ボタン中央：赤)	⑦	露出ケース
②	カメラレンズ	④	スピーカ	⑥	取り付けねじ		

■ 仕様

電源電圧	待機時：DC 約 5 V 動作時：DC 約 20 V (ドアホン親機より供給)
消費電流	待機時：DC 約 2 mA 動作時：DC 約 130 mA
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)	約 131 × 99 × 26.5 mm (突起部除く)
質量	約 175 g
外観色調	シルバー
外観材質	難燃樹脂
取付方法	JIS 1 個用スイッチボックス適合
使用環境条件	周囲温度：- 10℃ ~ + 50℃ 湿度：90% 以下
最大画角	水平約 170°、垂直約 130°
最低被写体照度	1 ルクス (カメラから約 50 cm 以内)
照明方法	LED ライト (照明用ランプ)
防水性	IPX3*
非常警報音量	住宅火災警報器/非常ボタン/ガス警報器 の警報音量：70 (dBA) 以上 (ドアホンの中心から前方 1 m で測定)

*鉛直から両側に 60°までの角度で噴霧した水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

■ 付属品

- ・小ねじ 4 mm × 25 mm 2
- ・木ねじ 3.8 mm × 20 mm 2

外形寸法図/仕様/付属品			
セット品番	VL-SZ35KF	品番	VL-V572L-S
品名	ドアホン (カメラ玄関子機)		